新規・切替　一般旅券発給申請書　10年用

厳折り曲禁げ

受理年月日		受理番号		—	
窓口記入欄		区分	該当なし / 二重発給 / 訂正新規 / 切替新規 / 入力あり / 裏面あり	確認	
☑ 10年	発行年月日	交付年月日	旅券番号		

注意
一、太枠内の所定の欄に黒インク（黒ボールペンでも可）で枠からはみ出さないよう記入してください。
二、この用紙は機械で読み取りますので折らないでください。折った場合は、申請書に改めて記入をお願いする場合もあります。
三、わが国固有の領土である北方領土（択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島）は渡航先には含まれません。
四、虚偽の記載をして、この申請書を提出し、又は旅券の交付を受けた場合等は、旅券法（五年≪営利目的は七年≫以下の懲役、三百万円≪営利目的は五百万円≫以下の罰金）及び刑法によって処罰されます。
五、申請書の個人情報は、海外での事故の際の援護等旅券発給以外の公の目的に利用されることがあります。

写真はここに貼らずにお持ちください。

注意
1. 申請者本人のみ
2. 6ヶ月以内に撮影したもの
3. 正面、無帽、無背景
4. 縦45mm×横35mm
（ふちなし。頭は頭頂から顎までが34mm±2mm）
*貼付した写真は旅券に転写されます

4±2　34±2　17±2

所持人自署

氏名		(姓)	(名)
	ヨミカタ		
	姓名		
ヘボン式ローマ字		(姓)	
		(名)	

性別	☐男　☐女	生年月日	年　月　日	
本籍	（都道府県名）	市区郡以下		

今までに旧姓も含め旅券の発給を受けたことがありますか。　☐ある　☐ない
もし、発給を受けたことがある場合は、最後に発給を受けた旅券について記入してください。

旅券番号		発行年月日（西暦）	年　月　日

この署名は旅券にそのまま転写されます。白い部分からはみ出さないように署名してください。
所持人自署については申請者本人が署名してください。ただし、乳幼児など申請者が自ら署名することが困難な場合は、法定代理人などが代筆することができます。
その場合には、「▷ ◁」印より上に申請者の氏名を記入し、「▷ ◁」印より下に記入者の氏名及び申請者との関係を記入してください。
（例えば、by A.YAMADA(Mother)
や by A.YAMADA(Father)など）

最後に発給を受けた旅券に記載の姓のローマ字

この申請書を提出する日の年齢　満　歳

3日以内に紛失(焼失)届出を行っていますか。☐はい

現住所　〒

電話　携帯　その他勤務先など

居所　〒　居所で申請する場合は居所も記入してください

電話

日本国内の緊急連絡先　〒

氏名　申請者との関係　電話

刑罰等関係

※次の各事項に該当しているか否か、□をチェックしてください。
（本人又は法定代理人が記入してください。）

	はい	いいえ
1.外国で入国拒否、退去命令又は処罰されたことがありますか。	☐	☐
2.現在日本国法令により起訴され、判決確定前の状態ですか。	☐	☐
3.現在日本国法令により、仮釈放、刑の執行停止又は執行猶予の処分を受けていますか。また刑の執行を受けなければならない状態にありますか。	☐	☐
4.旅券法違反で有罪となり、判決が確定したことがありますか。	☐	☐
5.日本国旅券や渡航書を偽造したり、又は日本国旅券や渡航書として偽造された文書を行使して(未遂を含む)、日本国刑法により、有罪となり、判決が確定したことがありますか。	☐	☐
6.国の援助等を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律を適用され外国から帰国したことがありますか。	☐	☐

外国籍の有無

現在外国の国籍を有していますか。
はい ☐　いいえ ☐
「はい」の場合は、下の項目にご記入ください。
国籍
取得年月日　年　月　日
どのような方法で取得しましたか。
・外国籍の父又は母の子として出生 ☐
・外国での出生 ☐
・外国人との婚姻又は養子縁組 ☐
・帰化申請又は国籍取得届出 ☐

外務省

都道府県

外務省コード欄	03 13条　10 別名併記　14 暦外確認　0A 別人　0C 解除　0E 職権　0H 特例1　0K 特例3　0N 永住	官庁コード
	04 対立地域　11 非ヘボン　15 暦外表示　0B 失効　0D その他訂正　0G 再作成　0J 特例2　0M JICA	

（別記第１号の２様式）

一般１０年

出発予定日　　年　　月　　日	※主要渡航先での滞在期間　☐ 3ヶ月未満　☐ 3ヶ月以上

※次の各項目のいずれかに該当する場合には、該当する項目の□にレ印をつけた上で、下記の渡航目的及び渡航先を記入してください。
① ☐ 表面の刑罰等関係欄に該当する事項がある場合　② ☐ 旅券の二重発給を受けようとする場合

渡航目的(具体的に)
②の場合は、二重発給が必要な理由も記入

今回の渡航先(渡航先国名と、コード表を参照して国コードを記入してください)

国名		コード	

旅券面の氏名表記（表面のヘボン式と異なる場合のみローマ字活字体大文字で記入）

(姓)

(名)

注：旅券面への表記可能な字数は姓・名・スペース合わせて37字（別名併記を除く）までです。
記号（、・～など）や、数字（ⅡⅢなど）等は記載できません。但し、別名併記の（　）は記載可。

外　務　大　臣　殿　　平成　　年　　月　　日

在　　大使　総領事　殿

この申請書の記載は事実に相違なく、旅券法第3条の規定により、一般旅券の発給を申請します。
この申請書に記入した氏名の表記を今後変更しないことを誓います。

申請者署名

（署名は必ず本人が戸籍に記載のとおり、かい書体で行ってください（署名が困難な場合を除く）。また、申請者が成年被後見人の場合は、法定代理人の署名も併せて必要です。なお、署名が困難な場合であって、法定代理人でない者が記名する場合には、その者の氏名も記名してください。本人確認のために印鑑登録証明書を使用する場合は、押印が必要です。）

法定代理人(後見人など)署名

本人確認欄

(1点でよい書類)
- ☐ 日本国旅券
- ☐ 運転免許証
- ☐ 個人番号カード、住基カード(写真付き)
- ☐ 船員手帳
- ☐ 海技免状
- ☐ 猟銃等所持許可証
- ☐ 戦傷病者手帳
- ☐ 宅建取引士証
- ☐ 電気工事士免状
- ☐ 無線従事者免許証
- ☐ 官公庁職員身分証明書
- ☐ 身体障害者手帳
(偽造防止、写真付き)

(2点必要な書類)
- ☐ 健康保険証
- ☐ 国民健康保険証
- ☐ 船員保険証
- ☐ 共済組合員証
- ☐ 年金証書等
- ☐ 介護保険証
- ☐ 印鑑登録証明書及び実印
- ☐ 後期高齢者医療被保険者証
- ☐ その他写真付きの身分証明書
(学生証、社員証、公的な資格証明書など)

☐ 一時帰国者

官公庁記載欄

☐ 本人　☐ 代理

☐ 非ヘボン　☐ 別名併記　☐ 長音表記

疎明資料名（　　）

理　　由（　　）

（平成二十七年十一月改正）